

わかやま生産性向上スクール

※旧「和歌山ものづくり経営改善スクール」

第2期 受講生募集案内

開講予定
2023年7月6日（木）

現場のデジタル化に欠かせない

データドリブン思考で現場の課題発見・分析・解決 を考えられる人材を育成します

- ✔ 猛烈なデジタル技術進化の中で、**ロボットやITシステムの導入前に必須のステップ**をご存じでしょうか？
- ✔ 日本一生産性が高いと言われる某自動車会社の現場が**アナログなカラクリを多用**しているのは何故？
- ✔ 「ムダ・課題」という言葉は知っていても、**自社のムダや課題**、その原因を**データで把握**できていますか？
- ✔ デジタルという言葉に煽られ、現場の真の経営目標ではなく、**「デジタル化」が目的**になっていませんか？
- ✔ 目についた課題を解決する「**部分最適パッチワークデジタル化**」が逆に全体効率化を妨げていませんか？

経営目標に対して、それを実現する現場を全体俯瞰して、目標実現を阻害する課題をデータに基づき現状把握し、課題分析と、生産性向上の為の手段（デジタル/アナログ）や進捗指標管理と標準化を実現する基礎を学び、実習を通じて実践的人材を育成します。

受講しやすく、社内展開しやすい内容になりました

- ★週に1日（木曜日）実施（8月17日は盆休み）だから、業務と両立しやすい。
- ★座学は**オンライン配信もあり**、後で復習もできる。（一部リアルのみの講義もあります）
- ★座学内容を**実践**する現場実習は、講師が徹底伴走指導！
- ★受講料は**1社あたり20万円、1社5名まで**受講可能で、修了後に社内チーム展開しやすい。

募集要項（昨年度とは少し異なります）

受講期間	・座学：令和5年7月6日～9月21日 10:00～17:30（11日間） ・現場実習：令和5年9月28日～11月30日（時間は実習先現場に準ず）（9日間） ※別途、受講ガイドンス、現場実習報告会、修了式があります。
場 所	・座学：フォルテワジマ 3階（フュージョン・ミュージアム）和歌山市本町二丁目1番 ※学習効率・理解深度を考慮すると、会場受講を基本にして下さい。 ※業務都合等でオンライン受講される場合は、パソコン、ネット環境他の整備が必要です。 ・現場実習：受講者・受講企業の背景を考慮して後日決定します。
募 集 数	・5社程度（ただし1社につき5名を上限とします） ※修了後の効果的な活動のため1社1名より、複数名受講をお勧めします。
募集対象	・一定以上の企業経験を積んだ方。自主的、意欲的に業務に取り組まれている方。 ・パソコン（特にエクセル、パワーポイント）を多用しますので、基本的なパソコン操作が可能な方。 ・少なくとも受講期間中、エクセル、パワーポイントがインストールされたパソコンを用意できる企業。 ※難しい場合、一応ご相談ください。
受講料	・1社につき、200,000円（税込）（1社につき5名まで受講可能） ※何らかのご事情により開講期間途中で受講中断されても返金いたしかねます。
募集締切	・令和5年6月23日（金曜日） ※申し込み方法は裏面参照
修了基準	・出席率が8割に満たない、また現場実習終了後の自社活動期間中の活動が著しく乏しい場合、修了認定を行わないことがあります。
そ の 他	※修了後も修了生組織「和楽会」にて、改善活動への継続支援、企業間交流、県外企業見学会などのフォローアップを実施します。 ※本スクールでは保険加入しておりません。スクール受講中の事故等については一切責任を負いません。

受講後の成果／経営者のコメント（旧：和歌山ものづくり経営改善スクール）

修了後活動成果① 生産管理部から現場への指示の見える化を改善したことで、現場作業者の判断時間が短縮し、金額換算で年間約60万円のコストダウン相当。またレイアウト変更による作業動線改善により、年間約30万円のコストダウン相当の改善効果。
T工業㈱

修了後活動成果② 在庫管理をスーパーマーケット方式に変更し効率化・見える化で余剰在庫を削減した結果、作業時間が6%程度短縮。金額換算で年間158万円のコストダウン相当の改善効果。
㈱I社

修了後活動成果③ これまでの受講生達による社内プロジェクト設置。週1回定期会議で討議し生産性10%向上を目指している。
T機械㈱

修了後活動成果④ 作業標準化とリードタイム短縮をテーマに人員配置やムダ排除で活動。一人一人が改善意識を持つようになった。
T建設㈱

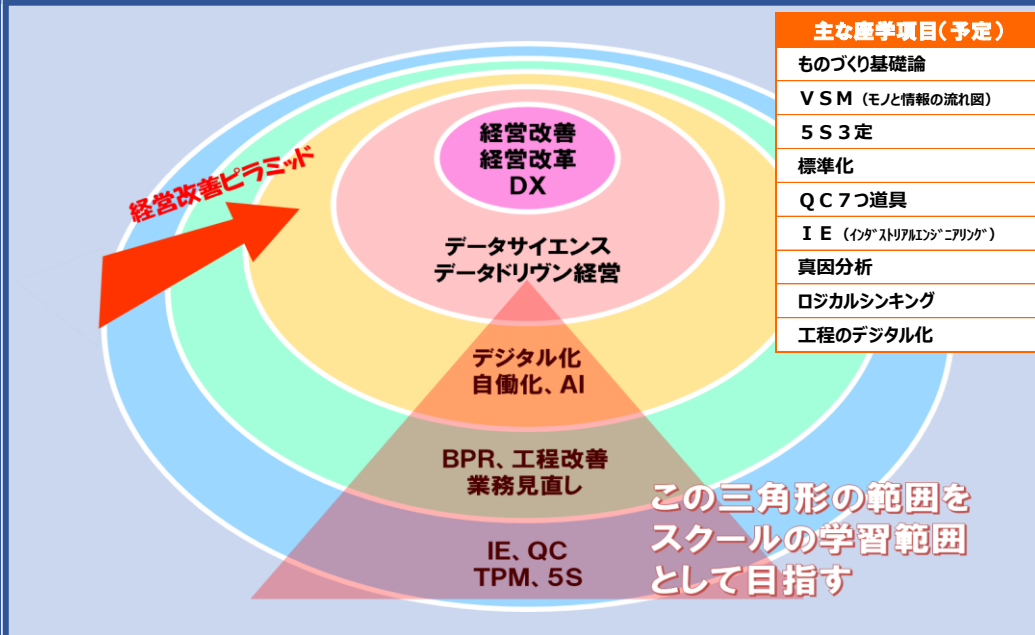
受講企業経営者からのコメント① ものづくりは奥が深く、2,3か月の講義だけでは解るものではなく、その後どう行動していくかが大事です。このスクールはその行動をできるようにサポートしてくれます。「ものづくりしやすい環境にする」ということを我々経営者も忘れないように、このスクールでは手伝ってくれるので有難いです。またカリキュラムも現場実習などの実践を中心に良い講義になっていると思います。ものづくりの原理・原則を学び直せるこのスクールは、和歌山県がモノづくりの企業を大切にしていけるのなら、なくてはならないと思います。
協和プレス工業㈱ 代表取締役 野村様

受講企業経営者からのコメント② 受講後にもフォローアップがあり、工場見学などをさせてもらった後の従業員の話を聞いたりすると、違う現場でも学ぶ事が多いようで反応が良く、大変刺激になっているようです。また我々経営者も受講させて終わりと言う形ではなく、戻ってからも活躍できるように受入れ体制を意識すると、他の従業員にもやっていることが見えるようにできるように心がけていきたいです。受講後半年くらいは熱量があるので熱量が無くならないように定期的にフォローで回ってくれるのは改善が継続できるので有難いです。このスクールは是非継続していただきたい事業と考え
㈱インテリックス 代表取締役 木村様

全日程（予定）

6月29日	木	ガイダンス
7月6日	木	座学 1
7月13日	木	座学 2
7月20日	木	座学 3
7月27日	木	座学 4
8月3日	木	座学 5
8月10日	木	座学 6
8月24日	木	座学 7
8月31日	木	座学 8
9月7日	木	座学 9
9月14日	木	座学 10
9月21日	木	座学 11
9月28日	木	現場実習 1
10月5日	木	現場実習 2
10月12日	木	現場実習 3
10月19日	木	現場実習 4
10月26日	木	現場実習 5
11月2日	木	現場実習 6
11月9日	木	現場実習 7
11月16日	木	現場実習 8
11月30日	木	現場実習 9
12月11～15日		実習先報告会（各社）
12月21日	木	全体報告／修了式
1月18日	木	自社活動フォロー 1
1月25日	木	自社活動フォロー 2
2月8日	木	自社活動フォロー 3
2月22日 or 29日	木	自社活動計画報告会

学習カリキュラム範囲イメージ（予定）



受講申込方法

下記の「簡易お申込み欄」にご記入いただき、財団宛てにFAXまたはEメールで送信ください。

⇒ FAX：073-433-8557 Eメール：wms@yarukiouendan.jp

受取り後に、正式な受講申請書をメール送付させていただきますのでご記入ください。

修受講決定前に、詳細内容を確認のため、お申込み**企業の代表者／受講社員の方と事前面談**させていただきます。

受講が決定された方は、指定日までに財団の指定口座まで受講料をお振込み下さい。（振込手数料はご負担下さい）

簡易お申込み欄

貴社名	申込ご担当者名		電話番号	
	申込予定者数	名	メールアドレス	

【お問合せ先】

（公財）わかやま産業振興財団

担当：永井、田辺

<https://yarukiouendan.or.jp>

wms@yarukiouendan.jp

〒640-8033

和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL:073-433-8556

FAX:073-433-8557

旧「和歌山ものづくり経営改善スクール」第5期の様子を『TV和歌山 きのに21』で放映された映像が右下のQRコードを読み取るとご覧いただけます。（番組開始後約15分過ぎ頃から）

和歌山県 広報課
インターネット放送局 4ch

検索

